

つちうらMaaS(観光客周遊促進・AIコミュニティバス)実証実験

多彩な観光資源を生かした観光客の増加や公共交通の利便性向上を図るため、新規の交通手段の導入やデジタルチケットによるキャッシュレス化の推進等、実証実験を実施し、観光客の市内周遊促進や中心市街地の活性化、持続可能な地域公共交通のあり方を検証する。

協議会の 構成員	【幹事】関東鉄道(株)、土浦市、土浦商工会議所、(特非)まちづくり活性化土浦、筑波大学都市計画実験室、JRバス関東(株)、茨城県政策企画部交通政策課、茨城県ハイヤー・タクシー協会県南支部、(株)常陽銀行土浦支店、(株)筑波銀行、(株)アトレ土浦店、(株)三菱UFJ銀行土浦支店、土浦ケーブルテレビ(株)	
地域課題	● 多彩な観光資源がありながら集客に活用できていないこと ● 中心市街地の活力の低下による観光都市としての魅力の低減 ● 路線バスの減便・廃止や市内を周遊するための交通手段の未整備等、公共交通の利便性の低さ	
取組の概要	期間	2021年2月15日～3月12日
	エリア	茨城県土浦市新治地区、自転車道「つくば霞ヶ浦りんりんロード」、土浦駅周辺の中心市街地
	MaaSシステム	ジョルダン(株)の「乗換案内」アプリを利用
	交通サービス	● 鉄道や路線バス、タクシー等の複合経路検索機能の提供 ● 路線バスや、遊覧船のデジタルチケットの販売 ● 流動人口データを分析・検証し、市民の移動需要を捉えて運行ルートを設定するAIコミュニティバスや、自動運転一人乗りロボ「RakuRo®（ラクロ）」、電動キックボードの運行・走行実験の実施 ● AIコミュニティバスの乗車認証手段に、マイナンバーカード公的認証システム、顔認証システムを導入
	交通以外のサービス	● ジョルダン(株)「乗換案内」アプリにおいて、路線バスのデジタルチケットと同時に飲食店や物販店、観光施設等のデジタルチケットを販売し、交通と商業の連携を実施
検証内容	● 公共交通の利便性向上による地域住民の公共交通利用促進 ● 公共交通と観光施設・飲食店等とのワンストップ化による茨城県内外から中心市街地への観光客の誘客	

取組イメージ	
MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ  「乗換案内」アプリ内デジタルチケット 	
実証したモビリティ等  AIコミュニティバス 顔認証による乗車認証 電動キックボード 自動運転 1 人乗りロボ	
検証結果	
● 地域住民の公共交通利用促進については、AIコミュニティバスは111名利用、自動運転一人乗りロボは27名利用し、利用者の満足度が高い結果となった ● 土浦市外からの観光客の誘客については、デジタルチケットは649枚利用、電動キックボードは246名参加し、一定の誘客効果が確認できた ● 実装に向けた財源確保、利用者獲得に向けた周知に関して、実証事業の継続にあたっての課題を残した	
今後の方向性	
● デジタルチケット及びAIコミュニティバス運行は運行に関して一定の知見が蓄積できたため、継続運行に向けて行政側に知見の活用を促していく ● 電動キックボード・自動運転一人乗りロボは安全性が確認できたため、メーカーへ実験結果をフィードバックし、更なる利便性向上及びコスト削減、安全な利用のためのルール・マナーの確立を促していく ● 今後は当初計画に基づき、自動運転バスの運行やマイナンバー利用によるキャッシュレス決済導入を検討する	